

# 基本施策評価シート

|          |
|----------|
| 基本施策最終評価 |
| B        |

基本施策通し番号 26

基本施策 戦略的な観光の推進

構成施策

| 施策番号 | 施策名              | 施策最終評価 |
|------|------------------|--------|
| 施策1  | 観光資源の活用と滞在型観光の推進 | A      |
| 施策2  | イベントの充実と広報の推進    | B      |
| 施策3  | 広域連携による周遊観光の推進   | B      |
| 施策4  | エコ・グリーンツーリズムの推進  | B      |
| 施策5  | 国際観光の推進          | B      |

## 成果指標

| 指標       | 内容                  | 令和2年度<br>目標 | 令和元年度末<br>実績 | 単位 | 令和元年度の成果の検証  |
|----------|---------------------|-------------|--------------|----|--|
| 観光入り込み客数 | 大野市を訪れる観光客の年間総数(暦年) | 220         | 199          | 万人 | 星空を活用したイベントや越前大野城の御城印販売、武家屋敷のフォトスポット設置等により各箇所の入り込み客数は増加したが、8月及び10月の台風の影響が大きく全体では昨年度より微増となった。 |

## 後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

|     |  |
|-----|--|
| 現 状 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・結ステーションを基点としたまちなか観光の充実を図るため、城下町東広場の整備やイベントの実施、滞在型旅行企画に対する助成を行うとともに、郊外では農業体験や自然体験などのエコグリーンツーリズムの推進や春の花や秋の紅葉などの観光情報の提供などに積極的に取り組んできた。</li> <li>・「天空の城越前大野城」等の効果で増加傾向にあった観光入り込み客数が伸び悩んでいる。</li> </ul> |
| 課 題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の観光資源をさらに磨き上げ、活用し、「天空の城」に続く魅力ある観光資源の掘り起しが必要である。</li> <li>・日帰りの観光客が圧倒的に多く、宿泊や食事、各種体験などを含んだ滞在型観光の推進、広域観光の推進など、戦略的な観光施策の推進により、越前おおのファンを増やし、さらなる交流人口の拡大を図る必要がある。</li> </ul>                          |

## 社会情勢・市民ニーズの変化

観光入り込み客数は200万人前後を維持しているものの、宿泊者数は少なく、滞在時間も短い。一人当たり観光消費額は低い水準のままである。新型コロナウイルス感染症により、県内または近県で、密にならず開放感のある観光(マイクロツーリズム)需要が高まると考えられる。中部縦貫自動車道開通、北陸新幹線福井延伸を見据えて、需要の変化に対応した観光施策の検討を行う必要がある。

## 現在の「現状」と「課題」

|     |   |
|-----|---|
| 現 状 | <p>六呂師高原での星降るランタンナイトの開催や越前大野城の御城印販売、武家屋敷旧田村家での風車を利用したフォトスポット設置をはじめとする博物館めぐり事業などの実施により、観光客の取り込みに成功はしているが、8月・10月の大型台風の発生、クマの出没が相次いだことで全体総数は昨年と比較し微増となった。</p> <p>観光協会のアンケートによる観光消費額も1人当たりの単価が低い傾向となっている。</p> |
| 課 題 | <p>市内の観光は滞在時間が短く、観光消費額が低いことから、滞在時間を延ばす仕掛け(着地型観光商品の開発、土産品の開発等)への対応が重要となっている。</p> <p>また外国人観光客に対する受け入れ態勢の整備が不十分であり、宿泊人数が伸びていない。今後、観光消費額を増やす仕組みづくりと令和3年度に開駅を予定している「道の駅越前おおの荒島の郷」から市内へ誘客する方法が課題となっている。</p>     |

## 基本施策の「成果」

|     |   |
|-----|---|
| 成 果 | <p>日本一きれいな星空を持つ六呂師高原を舞台に、星空ブランドの強化に福井工業大学やミルク工房などと継続して連携して観光誘客に取り組み、冬期に2回目となる「星降るランタンナイト」を開催し約2,000人の参加を得ることができたほか、六呂師高原においてハンモックに寝転がって星を見る「六呂師ハンモックナイト」を延べ6回開催し、約1,700人の参加を得ることができた。</p> <p>化石発掘体験センターの管理が切り替わり、他の観光施設と連携した施設のPRと運営を行うことで利用者の増加を実現した。</p> <p>官民協働で観光消費額を増やす取り組みとして、平成30年度に引き続き、広域連携による酒蔵周遊事業や歴史・観光資源をゲーム感覚で周遊できる歴史散策事業を実施した。</p> |
|-----|---|

## 改善点

- ・道の駅を核としたまちなかや郊外への周遊性の強化を図るため、市内全域で観光資源の魅力を上向きさせ、観光ルートマップの作成・PRや隣接市町の道の駅と連携した自転車の活用を行う。
- ・観光客の滞在時間を増やすとともに、消費額の増を図るため、各団体や事業所と連携し、歴史や自然文化財などを活用した魅力的な観光体験メニューを作る。
- ・本市では未だにインバウンドが少ないことから、広域観光団体と協力した外国向けの観光PRや外国人が安心して市内を散策してもらえるよう民間施設での外国語表記看板やパンフレットの整備を補助するなど受入環境の整備を進める。また、市内店舗で外国人のもてなしが出来る表記や店舗の業種が簡単に判別できる表示等も作成し、インバウンドの体制を整えていく。
- ・天空の城越前大野城、六呂師高原の星空に続く観光誘客出来る地域資源の発掘を行い、関係団体と連携した新たなツアー造成や観光情報発信を行い、交流人口の増加を促す。